

●特任連携会員の推薦様式について

〔平成24年1月27日  
日本学術会議第144回幹事会決定〕

日本学術会議の運営に関する内規（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）第6条の2による連携会員（以下「特任連携会員」という。）の推薦については、次の様式により行うものとする。

**附 則**

この決定は、決定の日から施行する。

**附 則**（平成27年10月30日日本学術会議第220回幹事会決定）

この決定は、決定の日から施行する。

**附 則**（平成29年12月22日日本学術会議第258回幹事会決定）

この決定は、決定の日から施行する。

**附 則**（平成30年9月12日日本学術会議第269回幹事会決定）

この決定は、決定の日から施行する。

**附 則**（平成30年10月25日日本学術会議第271回幹事会決定）

この決定は、決定の日から施行する。

**附 則**（平成31年4月24日日本学術会議第277回幹事会決定）

この決定は、元号を改める政令（平成31年政令第143号）の施行の日から施行する。

**附 則**（令和3年2月25日日本学術会議第308回幹事会決定）

この決定は、決定の日から施行する。

( 日 付 )

日本学術会議会長  
 ○○ ○○ 殿

○○ ○○

表1の(委員会の審議事項/国際業務)に参画するため、表2の者を特任連携会員(日本学術会議会則第7条第1項に基づき任命する連携会員)の候補者として推薦します。

(表1) 参画する委員会の審議事項/国際業務及び期間

委員会等名	○○○分科会/○○○国際業務
参画する委員会の審議事項/国際業務	
審議/業務期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

(表2) 特任連携会員候補者

氏名	国籍	年齢	性別	現職	専門分野

(表3) 選考要件についての説明

※ 国際会議への代表派遣の場合、表3は記入不要

氏名	理由説明
	※特任連携会員を推薦するにあたり、下記の点を明確にして、理由を説明してください。(①~④は必須、⑤は該当する場合のみ) ①当該特任連携会員なしでは十分な審議が困難である理由 ②会員、連携会員の中に、同等の専門家がないことについて ③候補者の任期 ④現時点での当該委員会・分科会における特任連携会員の数(比率) ⑤(国際の場合)国際関係団体との関係
特段の事情 ※「委員会及び分科会等に係る特任連携会員の選考の在り方について」(日本学術会議第142回幹事会決定)第2(3)イに該当する事情がある場合、記載してください。	

注1) 添付資料として、①日本学術会議特任連携会員候補者推薦書(様式2)、②委員会、分科会等の委員名簿(様式3)を添付する(国際会議への代表派遣の場合は不要)。

注2) 特任連携会員は一般の連携会員を補完するという位置づけであることに鑑み、その総数は一般の連携会員と特任連携会員を合わせた数の10%程度を上限とし、抑制的に運用する。

注3) 委員構成に占める特任連携会員の割合は、それぞれ次に掲げる人数を超えないものとする。

(ア) 分野別委員会及び同委員会に置かれる分科会等 1名(特段の事情がある場合には、2名)

(イ) 幹事会の附置委員会、課題別委員会及びこれらの委員会に置かれる分科会等並びに機能別委員会に置かれる分科会等並びに若手アカデミー及び同アカデミーに置かれる分科会 委員数の5分の1に相当する数又は10人のいずれか少ない数(特段の事情がある場合には、委員数の2分の1に相当する数又は10人のいずれか少ない数)